

生物多様性ながれやま戦略 質疑・意見への回答

質疑・意見	事務局の回答
<p>生物多様性の取組みについては、幅広く設定されており、充実していると思う。一方で、幅広いため、個々の取組みが稀釈される可能性があるのではないかと。</p> <p>年度ごとに、進捗が遅れているテーマ、重要なテーマについて焦点を絞り、重点的に取組むことが必要ではないかと。</p> <p>また、目標については、定性的なものが見受けられる（開催する、協力を求める等）が、出来るだけ具体的で定量的にすることも検討して欲しい。</p>	<p>現状の評価結果を鑑み、達成されてないものや重要度が高いものに関する今後の取組みの方針や計画を、より具体的に戦略に示していきたい。</p> <p>また、これまでに実施してきた取組みに関する情報も具体的に説明を示し、市民の方々が「生物多様性」をイメージしやすいものにしていきたい。</p>
<p>重点地区・地域について、「希少種がいる」「多様な生物が観測される」といった視点から選定されているのはもったいである。</p> <p>一方、開発が進み人口が増加している中、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質の劣化が観察されている地点 ・ 外来種が増えている等のネガティブな影響が出ている地点 <p>についても、モニタリングすることが、今後の流山市の生物多様性の保全の観点からも重要ではないかと。</p>	<p>モニタリング調査結果を用いて、重点地区・拠点に生息する特定外来生物（植物）を把握し、それらの防除を市民団体等に委託することを視野に入れている。</p> <p>一斉に全ての重点地区・拠点で実施するのではなく、試験的にある一カ所の防除を行い、ベストなやり方や基準等を考察しながら、段階的に実施していくものである。また、実施するにあたり、今回の改定で取り入れる各重点地区・拠点のクラス分け表も利用していくことを考えている。</p>
<p>生物多様性の観点から、極めて豊かな地域や貴重な生物が生息する地域はもちろんだが、外来種が増加している地域の把握も重要ではないかと。</p> <p>特に重点地域の中にそのような箇所があれば、そういった視点に注目したモニタリングを実施するのも必要ではないかと。</p>	<p>モニタリング調査の結果として、変化がみられる場合、その変化の要因を把握することは重要である。</p> <p>今後の開発の際に、生態系保全の観点から重要な情報になる。分析自体を市や委員だけで担うことはあまりに負荷が大きいので、数年に一度だけでもコンサルに分析を委託する、あるいは、幅広い有識者にヒアリングをするという手もあるのではないかと。</p>
<p>生物多様性地域連携促進法を利用し、流山市の生物多様性保全に向けた費用の補助を受けるのはどうか。</p> <p>費用を確保するというのは、事業を継続するうえで、一番重要なポイントの一つである。生物多様性地域連携促進法を利用すれば、活動にかかる額の半額の支援（数百万円程度）を得られると聞いた。</p>	<p>モニタリング調査の位置付けとして、市民や市内の市民活動団体の方々が、直接流山市の自然に触れながら、各重点地区・拠点の生態系や多様性の経年変化を観測し、その結果を基に環境保全に役立てるといった目的がある。これにより、モニタリング調査結果を用いて特定外来種の防除を取組んでいくことを考えている。</p> <p>予算については、御指摘の生物多様性保全推進交付金や生物多様性地域連携促進法で示される国からの援助を含め、検討を進める。</p> <p>専門的な視点から環境の変化要因の研究や分析を実施することは、従来の市民や市内の市民活動団体の方々に実施していただいているモニタリング調査と異なる位置づけで事業化する必要がある可能性がある。数年に一回等のペースで委託する等検討が必要である。</p> <p>御意見にもあるとおり、都市化とのバランスを考慮した環境保全の対策や、今後保全に取組むにあたりどういったことに気を付けなければいけないかを、専門的な視点から情報を得ることが出来るということが重要になってくると考える。</p>
<p>環境の劣化が観察されている地点について、「なぜ多様性が失われたのか」「なぜ外来種が増えたのか」に関する分析を行い、そのための対策が必要であると考え。</p> <p>しかし、モニタリングスタッフ及び費用の確保の問題や、そもそも分析できるのか、開発済みの地域については効果的な対策が実施できるのか、といった疑問もある。</p> <p>対策の実施は難しくても、生物多様性の損失の原因となったことを把握することは、今後の開発に対して生物多様性保全の観点から気を付けるべきことを把握する点でも重要と考える。</p>	